

日本発トスカーナ便り : Un giorno al mare.

初めて8月のイタリアを体験しました。8月といえば、Vacanza（ヴァカンツァ：休暇）の時期。イタリアでは大体2週間の夏休みが標準的らしく、8月15日がFerragosto（フェッラゴスト）という祝日なのですが、その日を境に、8月前半2週間・後半2週間と交代でVacanzaをとるようです。なので、毎年8月15日前後は全国的に行く人・帰る人で道路も電車も空港も大混雑の時期です。お店だって2週間位夏休みで休業のところも多く、以前は本当にいつも賑わっている街でも、お店も開いてないし、住民もVacanzaに出払ってしまって、街が空っぽになる、なんて時代もあったようですが、今は悲しいかな、ずっと続く不況のお陰で、お金のかかるVacanzaを諦めて、遠出をせずに家で過ごす人も多いのだとか。また、住民と入れ替わりに、太陽を求めて、北欧とかドイツ等からの観光客が増えて、夏の間も街は賑わっています。夏のVacanzaと言えば、おそらくイタリア人の90%位は太陽を求めて海や湖といった水辺に向かいます。2週間Vacanzaの人も、家で夏休みを過ごす人も行先は同じ！

大人が水辺で過ごす目的はただ一つ。しっかりと、きれいなブロンズ色になるまで日焼けをすること。（もちろん子供は泳いだり、砂遊びしたり、ビーチバレーしたりと遊ぶのに忙しいですよ。）例えば、イタリアの夏のVacanzaの定番。「海辺での2週間の休暇」は、来る日も来る日も砂浜でダラダラ・ゴロゴロして日焼けして、普段の生活のストレスを忘れて体をリラックスさせます。日帰りの人は、1日という限られた時間の中で、なるべく効率的にしっかりと焼けるように、それこそ根性入れて朝から夕方まで砂浜で日焼けに集中するのです。（もし家にベランダがあれば、そんな場所にもビーチチェアを置いて水着を着て日光浴するような人々なんですよ。）日焼け止め塗らないなんて人も珍しくないし、早く焼けるように自分で配合した「スペシャルオイル」塗って火傷する人だって必ず毎年いるんです。

目的がこれだけははっきりしているので、海辺のお作法だって驚くことはありません。まず、女性は年も体形も関係なく、ビキニ。スクール水着タイプは肌の露出が少ない（＝日焼けの面積が少ない）ので、着ている人は減多にいません。水着は、日本の海辺で見るとに比べたら、カラフルではありますが、あんまり装飾のない、ずいぶんスッキリしたデザインのものが多いように思います。



イタリアのビーチ、砂浜にはこんな感じで見渡す限り、ずらーっとパラソルとビーチチェアが並びます。公共のビーチとして無料開放されているのはほんのわずかの面積です。基本は有料なのがイタリアのビーチ。「ビーチが有料なんて、ヨーロッパではイタリアだけ！」とイタリア人は怒ります。でもパラソルとビーチチェア2つの標準装備で、砂もきれいに整備されているし、ごみも落ちてないから裸足で歩いて安心だし、シャワーもトイレも使えるし、ちゃんとした食事ができるし（もちろんお弁当持参もOKです）、監視員さんもいればビーチバレーやビーチサッカー場もある。となれば、時間制限なしで丸1日ビーチで過ごしても15~20ユーロ程度（これは1人当たりの値段ではなくて、1パラソル2ビーチチェア使用で。食事はもちろん別料金です。）って私は高いとは思いませんが…。

もちろん昔は何処もビーチの利用は無料だったようですが、ある時から政府が税金を見込んで、国の所有する砂浜での「海の家」の営業権を業者に与えたのが始まり。とのことで、「本来無料のはずのものに、お金を払わなきゃいけない」ことへの怒りなんですね。



まあそれはさておき。ちょうどこの日は「日焼け命」の人には物足りなかったかもしれませんが、うす曇りで、暑すぎず、湿度も高すぎず、海からの風が肌に心地良い一日でした。太陽の光を受けてキラキラ光る水面や、寄せては返す波、沖合を行きかう船や、刻々と形を変える雲なんかを眺めたり、砂浜を見物がてらブラブラ散歩する以外、サングラスかけてビーチチェアに寝そべって、ゴロゴロしているだけなんです。すごい解放感で確かにリラックスできますね。☺
←ヤシの木型シャワーです。☺

彼らの「日焼けすること」への熱意はなかなか理解が難しいところですが、（大して色白でもない私がイタリアに行くと「牛乳みたいに白くて不健康だから海に行ってください！」みたいなことを言われます。）

海からの塩気を含んだ風を感じ、波の音を聞きながら、太陽の下で体も心も日常から解放してリラックス。確かにその楽しみも効果も大きいです。

自然が持つヒーリングパワーって、すごい威力です。

最初は「え？海？水着？日焼け？なにそれ？」なんて抵抗があっても、一度体験してみると、勝手が分かって緊張が解けると、その楽しみに、ジワジワとはまりますよ。☺



日焼け止めとサングラス、そして適度の水分補給はお忘れなく！あと、ただゴロゴロしているだけなのに、日光浴の後は不思議な位疲れるので、無理な予定は立てず、しっかり休養・睡眠をとることをお勧めします。

トスカーナ州、Viareggio（ヴィアレージョ）の海から「ビーチのススメ」お届けしました！！